

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部 局 名	教育委員会
	課 名	ゆうき図書館
	係 名	企画管理係・サービス係
	記 入 者	小張 浩
	電話(内線)	34-0150

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称	計画 予算	市民情報センター管理運営事業 市民情報センター管理運営経費		(3) 事業の 優先度	A
(4) 総合計画での位置づけ					(6) 事業主体		市	
① 事業の区分	主要事業				(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)	
② 施策コード	44101		(総合計画掲載ページ 111 ページ)			会計区分	一般会計	
基本目標(政策)	4		未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)			財源区分	市単独	
基本施策	4		個性豊かな芸術文化の創造(芸術・文化)			予算科目	款 10 項 5 目 7	
施策			芸術文化を楽しむ機会の充実			予算書上の	市民情報センター施設管理運営経費	
施策内容			文化施設の管理・運営			事業名称	(予算書 172 ページに掲載)	
(5) 事業期間					(8) 事務分類		自治事務	
	開始	平成	3	年 4	月から	根拠法令		
	終了			年	月まで (年)			

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象者（だれを・何を）		(3) 事業内容（具体的に何を行うのか、そのために何を行うのか）	
結城市民及び市民情報センター利用者			
(2) めざす姿（どのような状態にしたいのか・意図）			
結城市の新しい情報の起点・交点として、環境整備を行い、「人と情報」、「人と人」、「過去と未来」の新たな結び目を創出し、本市の活性化を促進するための交流の場となることを目指す。		平成16年度から指定管理者制度を導入して施設の管理運営を委託し、市民のニーズに応じた幅広い分野の自主事業や共催事業を開催するとともに、市民が利用しやすい運営を図っていく。	
		■ 事業の全体計画（※計画等がある場合、H24年度末時点で記入）	
		・ 総事業費 千円 ・ 進捗率 %	
(4) 事業開始のきっかけや市民・議会の要望や意見、他市の状況など（※ 1-(8)事務分類 法定受託の場合は、記入必要なし）			
社会が急激に変化しつつある中、文化は人の心に豊かさや潤いを与え、情報は活気あふれる地域社会を作り出すうえで重要である。本市でも平成3年の市民文化センターの開館を機に市民の文化活動がより活性化し、市民情報センターが平成16年度の開館時から指定管理者制度を導入し、情報の起点・交点として、文化施設の役割は、いっそう高まっている。			

3. 事業コスト及び改善措置

行政評価 実施計画		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映	
● 予算内訳		実績・決算額（千円）		予算額（千円）		計画額・見込額（千円）	
事業内容		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	
（１）事務事業費の コスト	事業費	役務費	127	132	132	132	132
		委託料	88,221	104,618	106,958	106,958	106,958
		使用料及び賃借料	9,784	9,784	9,784	9,784	9,784
		備品購入費	159	0	0	3,080	356
		工事請負費	0	53	2,499	0	0
	合計	98,291	114,587	119,373	119,954	117,230	
	財源	国庫支出金（千円）					
県支出金（千円）							
地方債（千円）							
その他特定財源（千円）							
一般財源（千円）		98,291	114,587	119,373	119,954	117,230	
合計（千円）	98,291	114,587	119,373	119,954	117,230		
補助・起債制度名							

(2) 平成25年度以降の改善・改革点(※ 記入の必要なし)

より多くの市民の方に施設を利用してもらうため、魅力ある自主事業の開催、広報活動に努める。

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称			単位	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
実施内容	市民情報センター事業開催数	目標値	回		14	15	15	15
		実績(見込)値		14	14			
		目標値	回					
		実績(見込)値						
(2) 成果指標（事業実施による施策指標の達成度）								
施策の指標	市民情報センター利用者数	目標値	人		348,000	349,000	350,000	351,000
		実績(見込)値		347,463	348,000			
		達成率		99.0 %	99.1 %			
		目標値	人					
		実績(見込)値						
		達成率		%	%			

5. 事業評価

(1) 平成24年度の行政評価結果をうけて、平成24年度に取り組んだ改革改善点について記載してください。
本市の文化振興，人や情報の交流の場として寄与できる自主事業の開催や，管理運営を行った。

(2) 項目別評価

評価項目		評価の指標		客観的評価点及び評価理由		
1. 目的妥当性		①事業の必要性,緊急度は高いですか？		5	ますます必要性は高くなっている(または, 緊急性が極めて高い)	
		②行政が実施すべき事業ですか？		4	法的な問題などがあり, 行政がやるべき事業である	
		③受益者が特定の個人や団体に偏っていませんか？		5	広い範囲に対して便益が提供されており, 偏りは見られない	
14	A	補足				
2. 効率性		④事業の手段(やり方)は適切ですか？		4	現在のやり方が一般的であり, 特に問題はない	
		⑤コスト効率, 人員効率は高まっていますか？		3	どちらとも言えない	
7	B	補足				
3. 有効性		⑥活動指標, 成果指標は達成されていますか？(指標達成度)		4	概ね目標水準に達している	
		⑦事業の成果の進捗は順調ですか？(進捗度)		4	計画どおり, 順調に進んでいる	
		⑧事業のめざす姿は基本施策の目標達成に貢献できますか？(貢献度)		4	基本施策への効果が高まる, または基本施策の効率化が図れる	
12	A	補足				
4. 総合評価		事業全体について評価し,問題点,課題等を指摘してください。				
33 / 40		本市の活性化を促進するための交流の場として利用されているが, 図書館と連携しながら, 市民のニーズに応じた幅広い分野の自主事業・共済事業を開催していく必要がある。				
[5×8項目]						
5. 対応策・提言等		この事業をどのように改善・改革をしていきますか？				
		平成25年度 [事業実施段階 における改善点]	より多くの市民の方に施設を利用してもらうため, 魅力ある自主事業の開催, 広報活動に努める。			
		平成26～28年度 [今後の事業見込 による改善点や 改革点]	より多くの市民の方に施設を利用してもらうため, 魅力ある自主事業の開催, 広報活動に努める。			

6. 事業の方向性判断

評価主体	25年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減，成果維持・コスト維持又はコスト削減)	注)記入者は「5. 事業評価」を記載するため，この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減，成果維持・コスト維持又はコスト削減)	結城市民情報センターは，文化・学習・交流の場であり，目指すべき姿の実現に向け図書館を中心とした施設として事業や広報活動の連携強化を図る必要がある。
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおり事務事業名を変更する。